

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	こどもサークル新潟空港通り		公表日 R8年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		指定基準を超える広さを確保しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		指定基準を満たし、適切に職員配置を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	視覚的な支援により構造化された環境にしております。また、事前にご説明が必要に応じて職員が介助を行っております。刺激をなるべく減らした環境ではありますが、こどもが見て分かりやすい環境作りを、引き続き模索し、過ごしやすい環境づくりを行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	事業所内の衛生面に注意し、個々が過ごしやすい空間になるよう配慮しております。手洗い場の蛇口をひねるところが遠く、体の小さい子は一人で手が洗えないため、踏み台などで調整しているが更に配慮が必要だと認識しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		相談室や個別指導訓練室を設けており、目的に合わせて使用しております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	日々の業務を見直す機会を定期的に設け、業務改善に職員全体で取り組んでおります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に保護者アンケートを実施してニーズを把握し、日頃から伺う意見と併せ、より良い運営が出来るよう活かしております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的にミーティングを設けており、その都度職員間で話し合いをしながら業務改善を行い、より良い運営が出来るよう活かしております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後は外部評価についても検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		毎月事業所で研修を実施しております。外部研修への参加も積極的に行ってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムを作成し、ホームページ等で公表を行っております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		アセスメントを行い、児童の理解・分析を踏まえた上で児童発達支援計画の作成を行っております。保護者と話をする機会は多く、モニタリングも丁寧に行えています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援計画を作成するにあたって職員間で話し合い、こどもの最善な利益を考慮し作成を行っております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援計画の内容について職員間で見直し・更新を行いながら、作成した支援計画に沿って支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		登録シートやアセスメントシート等を用いて、児童の理解・分析を行い、日々の支援に繋げております。また、専門職に様子を確認し、どうしたらよいか気づいた点等もアセスメントに生かしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		児童発達支援ガイドラインにそって検討し、家族支援や地域支援についても併せて検討した上で、支援計画を設定しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		今月の狙いを全員で決めた上で、詳細も相談しながら決めています。ミーティングで季節や目標を確認した上で、全員で考える時間が取れています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		活動の様子を振り返り、全体に共有した上で活動を考えられています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		利用児童の状況に応じて集団活動・個別活動の時間を設定しており、個々に合った計画を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援開始前に必ず職員間で支援内容や送迎内容の確認を行い、適切な支援が出来るように取り組んでおります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		その日に保護者からいただいたご意見も含め、支援終了後には児童毎に記録を作成し、職員間で共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の支援について必ず記録を作成しております。職員間で共有して、支援計画に活かしております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを実施しており、利用児童の要望や保護者からのご意見、職員の意見を反映して次の計画作成に活かしております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		ガイドラインに基づき、利用児童および保護者のニーズに合わせて支援を行っております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要があれば園の様子を見に行ったり、園の先生にもお話を聞く、見に来てもらうことができます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		個人情報保護を徹底しながら、児童情報の共有を関係機関と行き、継続的な支援が行えるよう取り組んでおります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		個人情報保護を徹底しながら、児童情報の共有を関係機関と行き、継続的な支援が行えるよう取り組んでおります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	家族を通して書類で情報提供はあるも、連携としては不十分という意見もあるため、今後専門機関や専門家の方と連携し、一層の支援内容の向上・職員能力の向上に努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	児童館・図書館・近隣公園を利用する際の交流には努めておりますが、十分ではない部分もあり、今後は更に交流する機会を増やせるよう取り組んで参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時の報告等で児童の様子や活動内容を伝えております。事業所ブログも掲載しております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	保護者支援の必要性を認識しております。今後はより一層取り組んでいこう検討いたします。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明をしております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		定期的に面談の機会を設けております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		個別支援計画作成時の意向・目的を共有し、同意を得ております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		日々HUGでの連絡・相談が取れる環境にあります。また、保護者の方には電話で様子を確認させていただく機会も多いと感じております。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	家族交流の機会は少ないため、今後その機会を設けていきたいと思っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談窓口を設置し、解決に向けて迅速に対応しております。必要に応じて関係機関にも報告・相談を行っております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		保護者の方には毎月の活動予定を配布しております。事業所ブログも掲載しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		契約時に個人情報の取り扱いについて説明し理解をいただいております。また、事業所内部でも職員研修を行い、個人情報の取り扱いには、細心の注意を払っております。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		視覚支援や身振りなど、その子に合わせたコミュニケーションの取り方を考えて取り組んでいます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	地域の催しに参加する等の機会は少ないため、今後は地域住民の方とのコミュニケーションを更に意識した運営を行ってまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、職員で訓練を行っております。保護者の周知についてはブログに掲載しております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		法令に準じた訓練を行っております。職員は救急救命講習を受講しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		利用開始前に服薬について確認を行い全職員で内容を共有しております。票に貼り出し、一目で確認ができるようにしております。マニュアルでも周知しております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		契約時に食物アレルギーに関する確認を行い、全職員で内容共有を行っております。また、机を分けたり、都度掃除を行い、ふきんの仕分け等を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		ヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有を行っております。会議等で定期的に振り返りを行い、安全なサービス提供に役立てております。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		子どもの安全確保に関して、ブログやお知らせを活用して周知を行っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例集を作成し、振り返りを行っております。職員会議等で定期的に共有し、安全なサービス提供に役立てております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に虐待防止研修を実施しております。職員会議では日々の活動内容を振り返る機会を設けております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		やむを得ず身体拘束を行う可能性がある場合には、必ず組織的に決定し保護者の方に十分な説明を行い、同意を得た上でその内容を支援計画に記載しております。	